

分身ロボットカフェを支えるテクノロジー

オリィ研究所は、テクノロジーによって「できない」を「できる」に変換し、人類の生き方の可能性を拡張していくプロダクトを開発しています。

OriHime (オリヒメ)



生活や仕事の環境、入院や身体障害などによる「移動の制約」を克服し、「その場にいる」ようなコミュニケーションを実現します。

OriHime-D (オリヒメディー)



テレワークをしている人が遠隔で接客やものを運ぶなど、身体労働を伴う業務を可能にする、全長約120cmタイプのOriHimeの研究機です。

OriHimeで働くパイロット達

マサヒロ (須髯雅弘)

福岡在住です。筋ジストロフィーの為、電動車椅子で生活しています。体力が無くなかなか自分に合った仕事が見つかりませんでした。今はOriHimeで楽しく働いています。趣味はプロ野球観戦。海外旅行にも行きたいです。



ねね (中島寧音)

脊髄性筋萎縮症で寝たきりです。社会福祉士を目指し、大学で勉強しています。高2の時に福岡の自宅から分身ロボットカフェで働き、世界が広がりました。趣味は音楽を聴くことやレジニアクセサリー作りです。お会いできるのを楽しみにしています。



カーリー (五十嵐裕由)

進行性の難病「後縦靭帯骨化症」の悪化により脊髄を損傷。四肢麻痺の為、常に車椅子を使って生活しています。OriHimeを通じて社会参加する事で自らの可能性を広げたいと思っています。



店内紹介

OriHime Diner

OriHimeパイロットがオーダーを受けたり、サーブを行うエリア。パイロットたちとおしゃべりを楽しみながらダイナー限定のスペシャルな食事とドリンクを楽しめます。吉藤オリィをはじめ、オリィ研究所のエンジニアたちも、実験のため頻出予定。世界最先端の失敗を目撃せよ！



店内はバリアフリー

みんなで作るバリアフリーマップ「WheelLog!」の監修を受けたダイバーシティな店内。電動車椅子、ストレッチャーも通れます。介助ベッド・オスメイト附設のトイレの設置や、えんげ食などの食事支援が必要なお客様への対応も行います。

BAR & Tele-Barista

元バリスタのパイロットが「テレバリスタOriHime × NEXTAGE」を遠隔操作。お客様の好みに合わせたコーヒーとチョコレートを選び、目の前でコーヒーを淹れてご提供します。

CAFE Lounge

完全キャッシュレスのパーソナライズドカフェ「TAILORED CAFE」のスペシャルティコーヒーやホットサンドなどの軽食を楽しめる、気軽に日常使いができる席。Wi-Fiと電源を完備した時間貸しラウンジ席もあり。別エリアで働くOriHimeの様子を見ることもできる。

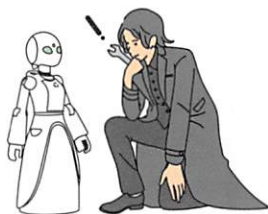


分身ロボットカフェが目指している未来

日本橋のフラッグシップ実験店を拠点とし、誰もが自分らしく社会とつながり続けられるテクノロジーの開発と、社会実装を目指します。

1 研究開発・実験の高速化

カフェと同ビル内にあるラボで作ったプロトタイプの実運転や、VRや5Gなどの技術を用いたプロダクト開発などを行います。



2 パイロットが活躍できる事例の拡大



新しい働き方の開拓



特別支援学校などの教育機関との連携



企業・自治体と連携し、実験研究に基づく解決策の提案

3 アバターワークシステムの社会実装

分身ロボットを活用した新しい働き方を広く世の中に提示し、例えどんな障害があっても孤独にならない社会を実現します。

